

# 議会だより



6月定例会市議会の予定	日程	内容
	6月14日(金)	開会
	6月20日(木)	一般質問
	6月21日(金)	一般質問
	6月24日(月)	一般質問
	6月25日(火)	一般質問・質疑
	6月26日(水)	委員会
	6月27日(木)	委員会
	6月28日(金)	委員会
	7月 4日(木)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

特集①	地域づくり協議会との意見交換会	2ページ
特集②	定例委員会について	3ページ
主な内容	2月臨時・2月定例市議会	4ページ
	一般質問	7ページ
	委員会活動報告	13ページ
特集③	総社市役所新庁舎建設現場現地調査を実施	16ページ

総社中央小学校区・1班  
令和6年1月21日(日)

総社中央小学校区地域づくり協議会との意見交換会では36名の皆様にご参加いただきました。

▽耕作放棄地や新規就農の課題▽将来の農業像について▽下水道未接続家庭への対応▽外国人技能実習生について▽町内会への行政文書の対応について▽スマイルタウン井尻野の側溝問題については、会終了後に職員にて現地確認もさせていただきました。

最後に、ご参加くださった市民の方からの「5年、10年、20年後のビジョンをどう考えているのか」「災害や交通に対して、子どもたちにとって安全安心なまちづくりをしてほしい」という言葉を肝に銘じてまいります。



中央公民館 浅尾分館にて

山田地域コミュニティ・3班  
令和6年1月27日(土)

本意見交換会は、多くの意見をお聞きするためグループワーク形式にて開催しました。

山田地域からは▽人口問題について▽交通問題について▽地域活性化事業、市民提案型事業について▽自由枠交付金について▽山田川の維持管理についてなど、多岐にわたる意見が数多く出ました。特に人口問題が深刻であり、山田地区人口685人に対し高齢化率44・5%になっています。

このような地域課題は、特に人口減少地域に見られる問題であり、市全体的な課題につながるものが多く、議会として積極的に取り組み、働きかけてまいります。



西公民館 山田分館にて

神在コミュニティ・3班  
令和6年2月4日(日)

グループワーク形式で意見交換を行い、以下のご意見を頂きました。▽神在幼稚園の今後について▽地域役職の担い手問題について▽土木要望への市回答について▽自由枠交付金の増額について▽分館の施設整備について▽消防団員の確保について▽防犯カメラの補助について▽街灯についてなどです。地域活動についてのご意見が多かったように思いました。その場で回答できないものは、市当局に確認して担当した班内で共有、協議の上、協議会会長に回答することとしています。

地域活動を持続的なものにしていくため、予算確保や政策の市民の皆様への周知を徹底させていきたいと思っております。



西公民館 神在分館にて

Q:本会議と本会議の間、議会は何をしているの?

## 各常任委員会で定例委員会を行なっています!

現在、総社市議会では、**総務生活委員会**、**文教福祉委員会**、**産業建設委員会**の3つの常任委員会と、議会運営委員会があります。今回は本会議を行っていない時に行われる定例委員会について、紹介をさせていただきます。



委員会の権限として、地方自治法で**審査権**(本会議から付託された議案、請願、陳情を審査する権限)と**所管事務調査権**(委員会の所管する事項を調査する権限)が認められています。

定例で行われている常任委員会では、この「所管事務調査権」を行使し常任委員会から、当局に対し様々な事項について調査、報告を求めます。当局からは報告事項として各常任委員会へ様々な案件の報告があります。

### 総務生活委員会

市長直轄の組織、総合政策部、総務部、市民生活部、会計課、議会、監査委員、選挙管理委員会、消防本部及び消防署の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項



[令和6年2月6日 総務生活委員会 開催内容] **調査事項** 令和6年能登半島地震における本市の対応について / 職員の退職と採用について  
**報告事項** 人口増パッケージについて / 空き家対策について / 総社市デジタルで人にやさしいまち推進基本方針について / 地域づくり自由枠交付金制度の見直しについて

### 文教福祉委員会

文化スポーツ部、保健福祉部及び教育委員会の所管に属する事項



[令和6年2月7日 文教福祉委員会 開催内容] **調査事項** 病院施設整備補助金の交付を受けた長野病院の運営状況について / 維新小学校・維新幼稚園の今後について / 小規模特認校とコミュニティ・スクール化について / 神在幼稚園の状況について / 放課後児童クラブについて / 学校給食について / 総社市内の幼・小・中において発生したいじめ案件について / 幼・小・中における送迎時の安全対策について  
**報告事項** 2024そうじゃ吉備路マラソンについて / 幼稚園の魅力化について / 昭和三つ星学園について / 部活動の地域移行について

### 産業建設委員会

産業部、建設部、環境水道部及び農業委員会の所管に属する事項



[令和6年2月8日 産業建設委員会 開催内容] **報告事項** 総社市一般廃棄物処理基本計画(案)について / 地域猫活動団体支援事業について / 上水道事業の現状と今後の見直しについて

**いつやってるの?** 令和5年度は「5月9・10・11日 / 8月1・2・3日 / 11月7・8・9日 / 2月6・7・8日」に開催。  
今後の常任委員会の日程は、総社市議会HPのGoogleカレンダーにて公表されます。

**傍聴はできるの?** 市民の皆様の傍聴も可能ですので、是非ともお越しください。  
※ 配布資料は委員会室のみでご覧いただけます。お持ち帰りいただくことはできません。

**会議録はみられるの?** 令和5年1月からは総社市議会HPにて**会議録が公開**されています。  
※ 現在、常任委員会のテレビ、インターネット中継、録画映像公開は行なっておりません。

次号より、定例の常任委員会については「委員会活動報告」にて、調査事項、報告事項を掲載させていただきます。[作成:山名 正晃]

2月臨時市議会

2月臨時市議会が2月13日に開会し、報告2件、承認1件、議案3件を審査しました。池田小学校区放課後児童クラブ及び国民宿舎サンロード吉備路の指定管理者の指定について、住民税均等割のみの課税世帯と、低所得者の子育て世帯に対し、低所得者支援給付金(1世帯10万円)について全会一致で可決しました。

2月定例市議会

2月定例市議会が2月28日に開会し議案38件、同意2件、意見2件、請願1件、陳情3件、議員発議5件を審査し3月21日に閉会しました。

令和6年度予算

一般会計358億2千万円、特別会計156億3千万円、企業会計69億3050万円、計583億8050万円を全会一致で可決しました。一般会計の主な内容は次のとおりです。

- 子育て支援・教育関連として小児医療費支給事業(中学生まで)3億5千7百万円、放課後児童クラブ施設指定管理委託料約2億2千7百万円、私立保育所助成事業1億千3百万円、出産・子育て応援給付金約6千万円、昭和美務教育学校関連約3千9百万円、部活動地域移行推進事業約2千万円など。
医療・福祉関連として生活保護経費7億9千3百万円、障害者地域生活支援事業約1億4千4百万円、雪舟くん運行委託料約7千5百万円、带状疱疹ワクチン接種助成事業約千3百万円など。
環境・衛生関連として浄化槽設置整備事業補助金約5千8百万円、地域猫活動助成金2百万円など。
農林業・商工観光関連としてため池整備事業5千3百万円、担い手育成支援事業約千6百万円、企業誘致対策経費約2千9百万円、吉備路つるの

- 里関連経費約2千万円など。
土木関連として神在秦本線改良事業約9千万円、東総社駅前泉本線改良事業8千万円、公園管理経費約8千万円、作原地区の内水対策事業千3百万円など。
消防・災害対策関連として消防車両・消防機器等購入費約1億8千4百万円、消防団員報酬約4千9百万円など。
予算以外の議案
学校給食費の1食当たりの額を小学校又は義務教育学校の前期課程に在籍する児童及び当該児童と同様の学校給食提供を受ける者に対し260円から320円に、中学校又は義務教育学校の後期課程の生徒及び当該生徒と同様の学校給食の提供を受ける者に対し300円から380円に改定する案を賛成多数で可決しました。なお、児童については令和6年度は据え置きとし令和7年度から適用される予定です。

- 令和6年度から中学校又は義務教育学校の後期課程の生徒に係る学校給食費を無償にする案を賛成多数で可決しました。
同意・意見
教育委員会委員に瀬尾英子氏、三上啓子氏を任命することに同意しました。
人権擁護委員に片岡晃氏、服部英文氏を推薦する意見について、推薦に同意しました。
請願・陳情
請願1件を趣旨採択し、陳情は3件のうち2件を不採択とし、1件を採択し意見書を提出しました。
議員発議
総社市議会基本条例、総社市議会議員政治倫理条例、総社市議会委員会条例、総社市議会会議規則ほか1件の一部改正をすべて原案どおり可決しました。
すべての付議事件の審査結果については、次ページをご覧ください。

令和6年2月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

Table with 3 columns: 番号, 件名, 結果. Contains 6 rows of council items.

令和6年2月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

Table with 3 columns: 番号, 件名, 結果. Contains 31 rows of council items.

**問** 歳出を抑えるために事業を再検証・再検討する必要があるのではないか

**答** 聖域なきスクラップ&ビルドをやっていかななくてはならない



荒木将之介

中期財政見直しについて

**問** 中期財政見直しによると令和6年度からの5か年で市の貯金とも言える財政調整基金を70億円取り崩すことになり、このままでは底をつくように見えるが要因は何か。

**市長** 物価高騰にともなう新市庁舎建設費の膨張と、高齢化率上昇による社会保障経費の増大だ。

**問** 歳出のうち、道路や建物の建設に関わる普通建設事業費が抑制されているが、市民生活に影響はないか。

**市長** 生活道の充実などは考慮していく。

本市の将来像について

**問** 歳出を抑えるべくスクラップしていくために、事業を再検証・再検証し整理する必要があるのではないか。

**市長** 聖域なきスクラップ&ビルドをやっていかななくてはならない。

**問** 一方で歳入について、税収・税以外の収入を増やすための施策は何か考えているか。

**市長** 税収増に直結する企業誘致を進める。また外貨獲得のための観光施策としてライドシェアを考えている。

**問** 今後財政状況を好転させていくための具体的な案を持っているか。

**市長** 自立経済圏獲得のために人口7万人を目指す。スクラップ&ビルドを進める。企業誘致を進める。



令和6年2月定例市議会では、3月4日から3月6日の3日間にわたり、市政に対する一般質問が行われ、11人の議員が諸問題について質問しました。発言順に掲載します。

1番	荒木将之介 議員	7ページ
2番	三宅 啓介 議員	8ページ
3番	萱野 哲也 議員	8ページ
4番	太田 善介 議員	9ページ
5番	山名 正晃 議員	9ページ
6番	小西 利一 議員	10ページ
7番	岡崎 亨一 議員	10ページ
8番	山田 雅徳 議員	11ページ
9番	溝手 宣良 議員	11ページ
10番	仁熊 進 議員	12ページ
11番	頓宮美津子 議員	12ページ

議案第32号	令和6年度総社市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第33号	令和6年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算	原案可決
議案第34号	令和6年度総社市水道事業会計予算	原案可決
議案第35号	令和6年度総社市工業用水道事業会計予算	原案可決
議案第36号	令和6年度総社市下水道事業会計予算	原案可決
議案第37号	市道の路線認定について	原案可決
議案第38号	市道の路線変更について	原案可決
議案第39号	市道の路線廃止について	原案可決
議案第40号	令和5年度総社市一般会計補正予算(第12号)	原案可決
議案第41号	令和5年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算(第3号)	原案可決
同意第1号	教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	同意
同意第2号	教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	同意
意見第1号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
意見第2号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
請願第1号	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める請願書	趣旨採択
陳情第1号	近隣住民の騒音問題から、5,500万円かかる工法に設計変更の議決をした議会は、SDGsの環境を守る立場から、また、近隣住民、市民全てに公平公正を尊重する立場からも、生活住宅地には望ましくない、問題点も多く抱えている展望台の計画は、中止することを求めます。	不採択
陳情第2号	公的年金の削減中止と物価高に見合った年金支給額の改善を求める陳情	不採択
陳情第3号	再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書提出に関する陳情について	採択
議案乙第1号	総社市議会基本条例の一部改正について	原案可決
議案乙第2号	総社市議会議員政治倫理条例の一部改正について	原案可決
議案乙第3号	総社市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
議案乙第4号	総社市議会会議規則の一部改正について	原案可決
議案乙第5号	総社市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案乙第6号	再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書について	原案可決

令和6年2月定例総社市議会での賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議案等	議員名															議決結果							
	山名正晃	太田善介	荒木将之介	小野耕作	森安健一	仁熊進	山田雅徳	溝手宣良	三上周治	萱野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男		小西利一	津神謙太郎	頓宮美津子	加藤保博	山口久子	剣持堅吾	
議案第15号	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	原案可決
陳情第2号	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

(凡例) ○：賛成 ×：賛成でない 退：退出 欠：欠席  
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 村木理英議員は、議長のため採決には加わりません。

**議長交際費執行状況** 「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。(単位：円)

【令和5年12月～令和6年2月分】

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
			支出はありません
4月からの累計		56,064	

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。※QRコードを読み取ると各議員の一般質問の録音放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。

**問** 多様な考えや市民も参画できるような、まちづくり組織を立ち上げてはどうか

**答** 総社駅前開発・東総社駅周辺開発プロジェクトチームをつくる必要がある



山名正晃



学校園について

**問** 人口減少地域の統廃合や増加地域の新設・増設等、今後の人口動態を考慮し、教育環境を整えるための学校環境適正化委員会を立ち上げ協議していく考えはどうか。

**市長** 頑張っって残そうというのが私のモチベーションであり、子どもの幸せ、教育のあり方である。考えなければいけない部分はあるが、母校を残していきたいと思っている。

**教育長** 平成24年、25年度に学校環境適正化審議会を開催した時と比較すると、小規模校はより小規模に、大規模校はより大規模になっている。教育特区や小規模特認校制度をはじめ、その成果がでるように努力していく。将来を見据えた時には何らかのかたちで進めていかなければならないと思っているので、総合教育会議にて議論、議会と相談していき、再び審議会を開いていかなければならない時が来ると考えている。

公共施設について

**問** 公共施設の集約化や複合化、適正利用を考慮し、長期的な計画を立て、ファシリティマネジメント委員会を立ち上げてはどうか。

**市長** ファシリティマネジメント委員会を立ち上げた上で、将来のあり方を論議し、その決定事項に従いながら、中期財政計画を含めて、庁舎建て替え後の支所のあり方についても言及しながら協議をしていきたい。

**問** 商業分野でデジタル決済を盛り上げていくことはできないか

**答** 便利さを体験できる仕組みを随所で作っていきたい



太田善介



デジタル決済について

**問** 市の施設でのデジタル決済の現状はどうか。

**市長** 令和3年9月からデジタル決済を導入しているが、今後ジャンルを増やしていくことをやっていかなければならない。

**問** デジタル決済を根付かせるためにはどのような問題があるかと考えるか。

**市長** キャッシュレス決済が進む方が経済は成長していくので促す必要があるかと思う。事業者からは、導入費用の負担はないが決済手数料がかかるため負担が多いという意見が非常に多く、この部分をどうしていくかが1つ大きな課題としてある。

**問** 地域通貨として総社PAYなど独自のデジタル決済サービスを構築することはできないか。

**市長** なかなか難しい、否定するわけではないが、ランニングコストが高い。この部分については研究の余地がある。

有事の際の自治体の動きについて

**問** 自治体として有事について市民に伝えておくべき事柄はないか。

**市長** もうこれはひとごとではなく、あり得べきこととして市民に知らしめていくということは必要になってくる時代だと思う。

**問** 公園の樹木の維持管理についてのコンセプトは何か

**答** ①緑の美しさ癒し②犯罪等の安全性担保③住民参加による低コスト化の3点



萱野哲也



石原南公園



まちかどの泉



川崎公園



図書館

**問** この樹木を見てどう思うか

**市長** これはひどい！切りすぎだ。

**問** 他人事のように言うが市長・執行部がしたのではないのか。

**市長** 率直に答えた。

**問** イベントや災害時に活用できるトイレトレーラーを導入してはどうか

**答** 総社市としてトイレトレーラーを1台持つべきだと考える



三宅啓介



災害時のトイレ対策について

**問** 本市の災害時のトイレ対策(施設、備蓄品)はどのようになっているか。

**市長** 簡易トイレは常盤防災公園(20基)、総社中学校(108基)、美袋防災倉庫(30基)にあり、災害時のトイレリースとして160台を確保している。また、使い捨てトイレとして総社中学校に4,050回分、汚物袋が全体で15,030袋で計19,080回分の非常用トイレと、トイレトーパー1,080巻を持っている。

**問** 市民へは自助としての簡易トイレの重要性をどう周知していくか。

**市長** 各地区で行なっている、防災訓練などで周知して行きたい。

水道事業について

**問** 本市の水道施設、水道管の耐震化の状況はどうか。

**市長** 基幹管路の耐震化適合率は令和4年度末で27%。配水池の耐震化率は30%であり、耐震化率を上げる努力が必要と考える。

**問** 水道インフラの維持など考えると、市民に十分周知した上で料金改定を行い、計画的な事業運営が必要と考えるがどうか。

**市長** インフレ状況が社会的に落ち着き、国の経済収支など見ながら料金改定については判断して行きたい。

**問** 水道管の耐震化を計画的に進めていくべきと思うが見解はどうか

**答** 耐震化100%が一番良いのは当然だが財政状況を見極めた上で示したい



溝手 宣良



**問** 現在の経済状態で満足しているか。

**市長** コロナ禍前には及ばないが法人市民税も地方消費税も増加傾向にある。しかし満足はしていない。これから伸ばしていく。

**問** 地域経済活性化対策としてデジタル地域通貨を導入してはどうか。

**市長** 有効であるとは認めるが課題もあるのでよく考えたい。

**問** 地域が負担している草刈り等の業務を地域が放棄したらどうするのか。

**市長** 我々(行政)がやるしかない。その為の判断基準を作る。

**問** 水道管の耐震化の現状はどうか。

**市長** 基幹管路約90kmの内耐震管は約25kmで耐震化率は約27.7%である。

**問** 水道管の耐震化を具体的な目標を設けて推進していくべきではないか。

**市長** 耐震化率100%が一番良いのは当然だ。財政状況を見極めた上で示したい。

**問** 能登半島地震での災害支援で得た教訓は何か。

**市長** どんな規模でも最高責任者は市町村の長であることを強く認識した。

**問** 発災直後に職員を派遣し、その後自らも被災地に入られたが、派遣される職員の安全とご自身の立場をよく考えて判断し行動されるべきではないか。

**市長** よく考えていく。

**問** 能登半島地震の住宅被害について、現地入りしてどのような印象であったか

**答** 奥能登での家屋損傷は激しく、瓦屋根の古い木造住宅はほとんど倒壊していた



山田 雅徳



**住宅の耐震化促進について**

**問** 昭和56年5月末以前に建築された木造住宅は「旧耐震基準」と言われ、「耐震性が不十分な住宅」とされている。現在市内にはどの程度あると把握しているのか。

**市長** 令和元年度の住宅総数によると、市内には2万5450戸の住宅があり、そのうち耐震性を満たす住宅は2万2341戸である。(耐震性が不十分な住宅は3109戸)

**問** 南海トラフ巨大地震では、総社市は震度5強～6弱と言われている。本市では耐震診断に「1棟当たり6万円」、耐震改修工事には「1棟当たり50万円」の補助制度を設けているが、その利用状況はどうか。

**市長** 令和5年度の実績で、耐震診断は7件、耐震改修は1件であった。

**問** 空き家にも補助制度は利用できるのか。

**市長** 利用可能だ。耐震診断、耐震改修に加え、空き家リフォーム補助金(30万円)を活用し、空き家の利活用を後押ししたい。

**公共施設の耐震化について**

**問** 公共施設の耐震化の状況はどうか。

**市長** 22施設が耐震化を実施していない。

**教育長** 教育施設の耐震化は完了している。

**問** 総社カルチャーセンターは、耐震診断や耐震改修が未実施だ。今後の方針はどうか。

**市長** 市街地連合町内会の最終意向を聞き、建て替えを含め、最終的な判断をしたい。

**問** 能登半島地震の災害支援の目的と感想はどうか

**答** 西日本豪雨災害の恩返しとプッシュ型支援が重要と感じた



岡崎 亨一



**問** 今回の災害支援で感じた本市の防災対策不足は何かあるか。

**市長** 地震対策が不足している。これからしっかり対応していきたい。

**小中学校での防災学習について**

**問** GIGAスクール構想での防災学習の考えはどうか。

**教育長** 効果が大いに期待できると思う。学校現場と協力して研究したい。

**市長** 最も重要なことと思う。GIGAスクールを利用して子ども達に学んで欲しいと思う。

**妊婦と里帰り出産の支援について**

**問** 里帰り出産などにより、県外で定期の予防接種を受ける場合は事前の申請が必要である。接種費用については、現在は償還給付であるが、これを受領委任払いにできないか。

**市長** 国の制度を変えて欲しい。全国の医療機関と協定を結ばなければいけない。非常に難しい。県内医療機関とは協定を結んでいる。

**問** 妊婦の緊急時の移動にかかる身体的・精神的負担の軽減を図るため、妊婦のための緊急時タクシーの考えはどうか。

**市長** 日の丸タクシーがおこなっている。マタニティータクシーという名前で、事前登録制となっている。妊娠8か月の方にご案内している。

**問** 人口減少地域の幼稚園についてどのような対策をとっていくのか

**答** 区域外からの就園を認める制度を導入していく



小西 利一



**問** 神在幼稚園について将来存続できる見通しがあって再開するのか。

**教育長** 5年10年先までは分からないが数名の希望者がいるので4月から再開する。

**問** 神在幼稚園を再開するにあたり、隣の放課後児童クラブと共有しているトイレはどうするのか。

**市長** 今年度の学校のトイレ改修予算の中でトイレの場所等も含め、早急に検討する。

**吉備路マラソンの運営について**

**問** ボランティアの在り方は今のままで良いのか。

**市長** 前年のような割り当て的な募集方法ではなく、賛同企業、大学などに協力してもらって多くの参加者が集まってくれたことは、大変良かったと思っている。今後も協力をお願いしたい。

**問** 職員の体制は今のままで行っていくのか。

**市長** 今人事を検討しているところである。

**避難所について**

**問** 能登半島地震を受けて避難所の再点検は行っているのか。

**政策監** 再点検を行い、備蓄品なども含めて対応している。

**問** 吉備路アリーナの冷暖房設備は、市民からの陳情を受けて対応はしたのか。

**市長** 対応はしていない。



熊進 仁

**問** 加齢性難聴者への補聴器購入に補助をしてはどうか

**答** 市民に優しい街を目指しているので補助は行ってまいりたい

高齢者と介護事業者への支援について

**問** 訪問介護の基本報酬が引き下げになるが、利用者と事業者についてどう思うか。

**市長** 利用者はいいかもしれないが、事業者の運営に着眼しながら我々地方から持ち上げていかなければならないテーマだと思う。

**問** 高齢者と介護事業者双方に支援が必要ではないか。

**市長** 令和4年度に訪問介護事業者に一律30万円の支援を、令和6年度にはおむつの使用者にはごみ袋の支援も予定しているが、足りているとは思わない。できる手立てはしていきたい。

物価高騰対策について

**問** 物価高騰で困窮する中小事業者に対して補助金制度を設けてはどうか。

**市長** 40~45歳の人口を伸ばしていくためにも中小企業支援や新規産業に夢や希望を与えていくことが大事になるので、臨時交付金等チャンスがあれば考えていきたい。

森林整備について

**問** 森林環境譲与税を子どもたちの学習や啓発活動に使ってはどうか。

**市長** 森林のありがたさを教えていくことは大事だと思う。昭和五つ星学園では森づくりや森のありがたみに視点を置いた教育をしていきたい。



頓宮美津子

**問** 若者の声を聴き、市政に活かし、力が発揮できる若者条例を制定してはどうか

**答** 若者が元気になるような若者条例を作っていきます

いじめ等防止条例の制定について

**問** 昨今子どもだけではなく、いじめに匹敵するような様々なハラスメント(相手に対して言葉や行動などで嫌がらせを行う、相手に苦痛を与える、傷つける不利益を与える行為)・DVが起きている。子どもを守るのは当然だが、市民が一丸となってお互いを尊重し、守りあえる明るい人権のまち総社を目指すようなポジティブないじめ等防止条例を作ってはどうか。

**市長** 大変難しい条例であるが必要と考える。検討したい。

福祉政策について

**問** 産前産後期間は、女性にとって大切なマタニティ期間である。理学療法士・助産師・スポーツインストラクター等のアドバイスや運動指導が受けられるように強化した産前産後ケア事業として進めてはどうか。

**市長** よく検討したい。



**問** ひとり親家庭の養育費の獲得のための支援をしてはどうか。

**市長** 前向きに検討したい。

文教福祉委員会

《2月臨時会》

当委員会で審査した案件は、2月臨時会では議案2件であり、すべて原案どおり承認、可決しました。

**● 総社市放課後児童クラブ指定管理者の指定について(議案第1号)**

**問** 指定期間は一般的には5年だが、なぜ今回2年なのか。

**答** 他の放課後児童クラブの指定期間終了が令和7年度末となっており、それに合わせたものである。

《2月定例会》

当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案15件であり、議案2件は否決とし、その他は原案どおり可決しました。(請願1件は趣旨採択、陳情1件は不採択)

**● 総社市交通遺児援助横田基金条例等の一部を改正する**

条例の一部改正について(議案第15号)(内容は、総社市学校給食費の管理に関する条例の一部改正) 起立採決の結果、可決同数、委員長裁決で否決

**問** 給食費の値上げ額の根拠は何か。また令和7年度以降の適用となっているが、なぜ7年度以降なのか。

**答** 物価高騰によりかなり材料費が不足する状況で量と質を確保しようとするれば、学校給食費を値上げせざるを得ないため条例改正するもので、中学校については無償化を行わなくても実際単価はこれくらいにかかっていることを明確にするため額の改正を行おうとするものである。令和6年度は据え置きで7年度から値上げする旨の改正附則については、保護者の経済的負担を激変緩和として1年間猶予し、その分を市が負担するというものである。

**問** これだけ原材料費が上がると仕入れの値段がたびたび変わり、1年の見通しが立たないのではないか。

**答** 契約は1年間を通して決める年間契約、各学期分での契約、生鮮食品のように短期間で契約するものがあり、短期間での契約がどうしても価格の変動を受けることになる。物価変動の中苦慮するところではあるが、約5億円あればと見積もっている。

● 総社市学校給食費無償化に関する条例の制定について(議案第16号)

**起立採決の結果、起立少数で否決**

**問** 無償化により財源はいくらぐらいかかるのか。

**答** 今回予算計上している賄材料費の単価で算出すると、約1億4千8百万円が必要経費となる。

**問** 小学校で無償化した場合、幼小中まで無償化した場合の試算はあるか。また1億4千8百万円の財源は何か。

**答** 幼稚園で4千万円、小学校が2億6千万円で合計4億5千万円、毎年市の持ち出しが必要となる。来年度においては、中学校の無償化を国の臨時交付金を充当し一般財源の持ち出しはないが、それ以降については現在、財源がないため市の持ち出しになる。

■ 一般会計予算審査特別委員会文教福祉分科会

◎ 令和6年度一般会計予算(議案第29号)(所管部分)

**問** おむつ等使用者に対する市指定ごみ袋支給事業について、どのように配布するのか。

**答** 障がい者については、日常生活用具の給付等事業のおむつ、ストマの使用者を対象とし、年度初めにおむつ等の給付申請への決定通知に合わせ、ごみ袋の支給決定とみなし、引換券を送る。高齢者についてはクーポン券支給対象者を対象とし、クーポン券送付の際に引換券を同封する。子ども関係では、令和6年4

月1日以降の出生により総社市に住民登録した子の養育者に、赤ちゃん訪問の際出産おめでとうギフトの一品としてお届けする。

**問** 英語教育等推進事業について、約2千8百万円減額になっているが、英語特区の人材育成に影響はないか。

**答** 今年度まで英語特区としてこの事業に計上していたものを、義務教育学校経費に分けて計上している。義務教育学校になることで会計年度任用の講師の人員減となった部分は減額している。

**問** 学校給食の賄材料費が今年度よりかなり上がっているが、量等が減っている状況から戻るのか。

**答** 来年度はまだ物価高騰が続いており牛乳代等もさらに高くなるのが分かっている。献立についてカロリー等も通常に戻す努力はしているが、2、3か月前に献立を決めており、すぐには戻らない現状

がある。来年度は4月から通常通りに戻すよう進めていく。

総務生活委員会

《2月臨時会》

当委員会で審査した案件は、2月臨時会では議案1件であり、原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

● 令和5年度総社市一般会計補正予算(第10号)(議案第3号)

**問** ふるさと納税代理寄付金の受付状況はどうか。また受付の期限についてはいつまでを考えているか。

**答** 昨日までに、七尾市宛の寄付が270万7千円、かほく市宛の寄付が34万8千円である。期限については、被災地と相談しながらとなるが、今のところ年度末を一つの区切りとして調整中である。

《2月定例会》

当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案11件、陳情2件であり、すべて原案ど

おり可決しました。(陳情1件は採択、1件は不採択)

主な内容は次のとおりです。

● 総社市お試し住宅条例の一部改正について(議案第4号)

**問** 利用料の増額は物価高騰によるものか。

**答** 物価高騰によるもの他に、施設の維持管理費やスマートロック設置費用、今後の設備修繕のための財源確保等も考慮し、一泊につき千円増額するものである。

● 総社市一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定について(議案第7号)

**問** 新年度から、具体的にこの仕事に就いてもらうといったことは想定がないのか。

**答** 専門性の高い土木技術職等の採用が全国的に困難にある中で、そういった職員の採用の選択肢としても活用できると考えている。また、短時間勤務の職員であれば、育児休業の代替職員は現在会計年

主な内容は次のとおりです。

● 総社市国民宿舎指定管理者の指定について(議案第2号)

**問** 代表団体が株式会社シャーンテ、構成団体が下電観光バス株式会社となっているがどのような企業体か。

**答** グループでの申請を認めており、実際は下電観光バス株式会社主体で運営し、株式会社シャーンテがアドバイスを行う立場となる。

《2月定例会》

当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案17件であり、すべて原案どおり可決しました。

● 令和6年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算(議案第33号)

**問** 営業収入と委託料の差額は2千4百万円の黒字にとどまっている。令和6年4月から指定管理者が変わるが、どのようになる見込みか。

**答** 新たな指定管理者から、二次交通を利用した誘客と料理などに力を入れていきたいと聞いている。またいろいろな企画も予定しており、売上げが上がるよう市としても総合的に支援していきたいと考えている。また、令和7年度には大規模修繕を予定しているが、一部の修繕を令和6年度にも前倒しで実施し、早めに設備を整えることでさらなる集客を図っていきたい。

● 令和5年度 総社市一般会計補正予算(第12号)(議案第40号)

**問** 一般会計から国民宿舎事業費特別会計へ1千万円繰り出すこととなった経緯はどうか。

**答** 国民宿舎においては、令和5年度は2千万円の黒字を見込んだ予算編成としていたが、業務縮小により約2千8百万円の赤字となる見込みとなった。修繕料、備品購入費は従来から市が負担してお

度任用職員を採用しているが、期間を定めて職員として短時間で採用するといったことも想定している。

● 一般会計予算審査特別委員会総務生活分科会

◎ 令和6年度一般会計予算(議案第29号)(所管部分)

**問** 地域集会所建設費補助金は平成17年度から予算額に変更がないが、今後増額は見込んでいないのか。また限度額についても変更しないのか。

**答** 増額は見込んでいない。過去に予算以上に必要が生じた際は、補正予算で対応しており、今後もその方針であり、限度額については、現在2百世帯以上と2百世帯未満で補助金の上限額を変えているが、それを撤廃する予定である。

産業建設委員会

《2月臨時会》

当委員会で審査した案件は、2月臨時会では議案1件であり、原案どおり可決しました。

り、その財源は一般会計からの繰入金や営業収支の黒字部分で賄っていたが、令和5年度は黒字部分が見込めなくなったため、一般会計の繰入金を増額しようとするものである。なお、約2千8百万円の赤字部分については、指定管理者が負担することとなる。

■ 一般会計予算審査特別委員会産業建設分科会

◎ 令和6年度一般会計予算(議案第29号)(所管部分)

**問** 観光一般経費の日本遺産「桃太郎伝説」推進協議会負担金と、日本遺産サミットへの参加旅費が計上されているが、この日本遺産の事業は、実際にどういったことを行っているのか。

**答** 令和5年度においては、春に岡山市の造山古墳のビジターセンターで、古墳まつり、夏にデジタル技術を使って各市の日本遺産を巡るクイズラリー、秋に古墳を巡るバスツアー、冬に温羅を題材としたレシピコンテストなどを実施したところである。令和6年度においても体験型の事業を企画しているところである。

一般会計予算審査特別委員会

各分科会において令和6年度一般会計予算(議案第29号)の審査が行われ、各分科会委員長から審査経過について報告され、原案どおり可決することに決定されましたが、学校給食については、児童・生徒の健やかなる成長と食育を推進する観点から、令和5年12月から行った給食の全体量の縮減措置が再び行われないうよう、給食の質と量の確保に努めた予算執行を行うよう求める附帯決議案が提出され、全員一致で附帯決議を付することに決定しました。



# 総社市役所新庁舎建設現場現地調査を実施

令和6年2月6日(火)総務生活委員会にて、新庁舎建設現場の現地確認及び建設工事の進捗状況等調査をしました。

新庁舎は6階建て(一部8階建て)の庁舎棟と4階建ての議会棟、倉庫棟があり「和」のテイストを取り入れ現庁舎の1.6倍ほどの総面積になり、3月1日現在の工事進捗では庁舎棟1階、議会棟2階部分が着工しています。

完成時期は令和7年1月の予定です。



議会棟



完成予想図

※総社市新庁舎建設実施設計より



庁舎棟



免震構造を採用した地下部分



## 編集後記

「広く聴き、広く報せる」

総社市議会の議会だより編集担当は「広聴広報委員会」といいます。市民の皆さんの声に耳を傾けることを第一とし、しっかりと議会に反映させたくえで皆さんにお返し・お知らせしていくという意味で、広報広聴ではなく広聴広報委員会と名付けられています。

総社市議会は地域の皆さんとの意見交換を積極的に行っていますが、議員一人一人が日頃から皆さんの声を聞き、市政に對してお困りのことや、この議会だよりを読んだ疑問に思うことがあれば、ぜひ身近な議員に声をかけてみてください。(荒木将之介)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 高谷 幸男
- 副委員長 荒木将之介
- 委員 山名 正晃
- 委員 太田 善介
- 委員 森安 健一
- 委員 仁熊 進
- 委員 岡崎 亨一

